

大型公共事業見直しの道をさらに進めよう

—— 3月予算市議会をたたかて —— 3月29日 日本共産党広島市議会議員団

一、3月26日、予算議会が終わりました。今議会の最大の課題は、危機的状况に陥っている市財政をどう立て直すのか、その道筋をあきらかにすることでした。

長年にわたり自民党が推し進めてきた大型開発優先の「逆立ち政治」は、9千6百億円にのぼる借金残高(市民1人あたり84万円)を生み出しました。

日本共産党市議団は、「市財政を立て直すには、『大型公共事業見直し』は避けて通れない」と一貫して主張し、大型開発優先の「逆立ち政治」から、市民の福祉・暮らし優先の「自治体本来の姿」に立ち返ることを求めてきました。

こうしたなか、昨年2月の市長選挙で『大型公共事業見直し』を公約に掲げて当選した秋葉市長は、公約をまもつて「公共事業見直し委員会」を設置し、同委員会の答申を踏まえ、すべての大型公共事業の見直しを前提とした新年度予算案を発表しました。

二、新年度予算案は、大型公共事業関連予算を大幅削減、24年ぶりに借金残高を減らし、公債費(借金払い)を除けば、唯一、民生費のみが昨年度より増える(90億円増)など、財政立て直しと福祉・暮らしを優先する市政への第一歩となる画期的なものでした。

とりわけ、乳幼児医療費補助の就学前まで拡大、小・中学校の先生の増員、若者の雇用対策、市営住宅の修繕可能な空家をすべて修繕して募集戸数を拡大、総合リハビリセンター建設への着手、大幅に削減

した公共事業のなかでも市民生活に密着した小規模の公共事業費は前年度並みに確保するなど、多くの市民の声に応えた予算が盛り込まれています。

一方で新年度予算案は、高齢者や障害者、低所得者の命と生活にかかわる福祉事業の削減・廃止、公共料金の値上げ案など問題点も含んでいます。

日本共産党市議団は、新年度予算案に対して、『大型公共事業見直し』という積極面を評価しつつ、弱い立場にある人々の命と生活にかかわる福祉削減という問題点は率直に指摘し、その改善を求めるという立場で予算議会に臨みました。

三、これに対して、これまで大型公共事業を推進してきた自民・公明を中心とした議会主流派は、「広島は平成16年度予算をもつて、革新自治体に埋没しようとしている」「絶対に容認できない独裁政治だ」と宣戦布告し、予算案の否決も視野に入れて予算議会に臨んできました。

「大型公共事業見直しによる財政再建か」「市民サービスに大ナタを入れる財政再建か」、予算議会では、事実上、財政再建の二つの道をめぐる激しい攻防の場となりました。

四、「ムダづかいやめよ」の市民世論と日本共産党市議団の道理ある論戦により、大型公共事業見直しに正面から反対できないところに追い詰められた議会主流派は、攻撃の矛先をもつばら秋葉市長の政治姿勢と公共事業見直し委員会の存在そのものを否

定することに集中。「市長と議会の対立」をことさらに強調することで、市民の目を問題の本質からそらすことに終始し、一部のマスコミが、この動きに同調したかのような報道をしたことはきわめて残念です。

結局、公共事業見直し委員会の運営費を予算から削除する修正案と、大型公共事業推進を盛り込んだ市の基本計画を変更する場合は、今後、議会の議決を必要とする条例案を、議会終了前に突然持ち出し、慎重な審議もなしに可決しました。これらは、今後の公共事業見直しに大きな障害になりかねないものです。

こうしたなかで日本共産党市議団は、最後まで道理をつくして議会内の多数派結集に努力し、予算案の否決をねらった議会主流派と真つ向からたたかいました。

五、今回先送りとなった高速道路などの大型公共事業は、これから見直し作業に入り、6月議会には今後の市の方針が提案されます。

議会主流派がねらう『大型公共事業見直しの流れをとめる』ことは、市民サービスの大幅な削減に道を開くこととなります。

財政再建をめぐる二つの道の本格的なたたかいはこれからです。始まったばかりの『大型公共事業見直し』の道をさらに前に進め、福祉・暮らし優先の市政へと前進させるために、日本共産党市議団は、多くの市民のみなさんと力を合わせて、これからも全力をつくす決意です。

● 予算議会でのおもな議案に対する各会派の態度 ●

		一般会計予算の 修正案	基本計画を議決 対象とする条例案	議員報酬削減 条例案	議員定数削減 条例案
		公共事業見直し委員 会などの運営費削除	広島市基本計画を 策定・変更する際は 議会の議決要す	議員報酬を5%削減 (この4月から)	議員定数を1割削減 (次の改選時から)
		可決	可決	否決	否決
日本共産党	5人	×	×	○	×
新政クラブ	13人	○	○	×	×
公明党	8人	○	○	×	○
自由民主党	6人	○	○	×	×
社民党	5人	×	○	○	×
自民党・市政改革クラブ	5人	○	○	○	×
ひろしまフロンティア21	5人	○	○	×	×
新自民クラブ	5人	×	○	○	×
市民・民主フォーラム	4人	一部○ 一部×	○	○	×
地域デザイン21	1人	不明	○	○	○
無党派クラブ	1人	×	○	○	○
無所属	1人	○	○	×	○
ライフステージ21	1人	○	○	×	×

※人数は会派構成人数